



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL http://www.shibuya-p.com



治安、テロへの不安。ジカ熱、デング熱感染の不安からの参加辞退。ロシアのドーピング問題。多くの問題を抱えながら、5日に開幕したリオデジャネイロ・オリンピック。日本の活躍を期待して地球の裏側をテレビを通して毎日覗いている方も多いことでしょう。

そして、21日、閉会式の最後のセレモニーで「オリンピック旗」を受け取るのは、新都知事の「小池百合子」と決まりました。いよいよ2020年東京オリンピックに向けてのカウントダウンが始まります。

ISOの箇条 4.2「利害関係者のニーズ及び期待の理解」ではありませんが都民の「要求事項」や人としての「順守事項」を理解していれば、猪瀬直樹、舛添要一のいずれかが次回オリンピック開催の都市の長として「オリンピック旗」を受け取っていたに違いありません。

私たちもISOの主旨を理解し、仕事のツール、指針として活用して行きましょう。

「ほおずき」を見ると夏休みの昼過ぎ、外を駆け回り、火照った体を冷たい畳に投げ出すと、遊び疲れてまどろむ視線の先に盆棚が見え、先祖の霊を導く提灯に見立て飾った、鬼灯(ほおずき)が朱色に見えていた光景が脳裏に浮かびます。

浅草、浅草寺の「ほおずき市」は7月9日、10日で、夏到来を告げる日本の風物詩ですが、旧盆地域で育った私にとっては、夏休みが半分過ぎたことを告げるのが盆棚に飾られた朱色の「ほおずき」でした。

シブヤの庭の今年の「ほおずき」は害虫の「ニジュウヤホシテントウ」の発生もなく、大きく育ちました。

「ほおずき」はナス科の多年性で「パーティシリウム ダーリエ」という不完全菌によって連作障害が生じるとのこと。来年は別の場所で栽培したほうが良いかもしれません。

＜ISO 掲示板＞

新規格講習会・内部監査日程・外部審査日程

7月30日(土)第2回 2015年版「品質・環境マネジメントシステム講習会」がハタコンサルタント株式会社 三浦規義様を講師に迎え、本社会議室で開催されました。講習は2015年規格での内部監査を実施する、内部監査員を主な対象に行われました。

被監査部門、内部監査員とも新規格では初めての監査となります。疑問、意見を出し合って成果ある監査にしてください。

内部監査、外部審査の日程が決まりましたのお知らせします。

【内部監査日程】

被監査部門	監査予定日	監査リーダー	監査員
静岡支店	8月30日	羽柴 孝行	李 永平
浜松支店	9月2日	脇田 文樹	吉田 恵
岐阜支店	8月26日	安藤 秀治	竹内 寿
三河営業所	8月26日	林 欣也	木村 恒嘉
管理責任者	9月1日	桑原 孝悟	渡邊 敦洋
技術部	8月25日	林 昌弘	高橋 智一
営業・企画部	8月31日	北川 克巳	杉山 貴英
総務・財務・管理	8月30日	中村 悟	甲 和之
日特小牧	8月22日	巽 芳明	玉田 康弘

※ 詳細日程は監査リーダーと被監査部門で打合せください。

【外部審査日程】

審査日程	2016年10月26日～10月28日 (3日間)
審査種別	ISO14001・9001統合・定期審査/移行審査
チームリーダー	伊東 域坦
審査員	鈴木 佳太

※ 詳細日程は決定しだい連絡します。



【今後のISO日程】

★内部監査・外部審査の日程の関係で、72期当初からお伝えしてあるとおり「年間改善活動計画書」の提出が8月19日となります。ご協力をお願いします。

年間改善活動計画書	内部監査の関係で 8/19 まで
中間評価提出	
内部監査	8月22日 9月2日
内部監査チームリーダー会議	9月9日 13時00分～
マネジメントレビュー	9月20日 15時00分～17時00分
目標カード 中間評価提出	9月末 まで
外部審査：定期/移行	10月26日～10月28日 (3日間)
社長面談：(目標カード 前期分による)	10月から
年間改善活動計画書・後期提出	10月末まで
目標カード 後期提出	10月末まで

＜一人でもエコ活動＞

私たちは日頃、なにげなく割り箸を使っています。でも、それが森林を壊しているとしたら…あなたはどう思いますか？ 私たち日本人は、知らぬ間に世界の森林を食い尽くしている…といっても過言ではないでしょう。 地球温暖化白書より

割り箸の現状 日本国内では年間250億膳(木造住宅2万軒分)もの割り箸が使い捨てられています。そのうち97%は輸入材です。昔、割り箸は端材や間伐材などが多く使われていました。しかし、最近では海外で造られた割り箸を大量輸入・消費するようになりました。

森林破壊は環境破壊の連鎖をもたらし、生態系破壊や地球温暖化にも大きく拍車をかけることになるでしょう。

割り箸の削減 私たち1人1人が出来る割り箸削減への取り組みもあります。まずは、割り箸を「断る」こと。コンビニなどで割り箸の有無を問われたら、迷わず「いりません」と答えましょう。割り箸をリサイクルすると、割り箸3膳でA4のコピー用紙1枚、100膳で週刊誌1冊分の紙になります！

アドバシ 国産の間伐材で作られる割り箸と、輸入割り箸との間で生じる価格差が日本の森で間伐が進まず問題となっています。割り箸は割り箸でも、広告(アドバタイズメント)入りの国産材割り箸のことを「アドバシ」といいます。輸入割り箸との価格差を箸袋に入れる広告代で補おうと、「アドバシ」が提案されました。今では国産間伐材の利用促進、森林保護に役立っています。

マイ箸を使おう マイ箸とは、自分専用の持ち歩き箸のこと。あなたが持てば、年間200膳(1人あたりの消費量)もの割り箸が救えます。これが1万人になると200万膳、10万人になると2,000万膳もの割り箸が削減されます。

